

Hospital 病院クローズアップ

国立病院機構

静岡医療センター

急性期医療と慢性期医療を担う施設として
地域の医療ニーズに応え、貢献していきたい

当院の柱は循環器、がん、救急、総合診療、神経難病、重症心身障害の6つです。循環器は、静岡県東部で唯一、24時間365日対応ができる病院です。

がんに関しては、メインは消化器系です。大学から教授、准教授に毎週来ていただき、執刀をお願いしており、静岡県立がんセンターのレベルに匹敵するほどの専門医を揃えています。

救急医療については、ハワイ大学の医学教育プログラムを導入しており、現在、3名の常勤医がいます。総合診療に関しても、ハワイ大学との連携により、2021年度から常勤スタッフが増える予定です。

神経難病は2019年10月から6人体制になりました。この分野では若手の医師がどんどん集まるようになり、メインは筋萎縮性側索硬化症という難治性の神経疾患ですが、急性期の神経内科疾患の患者さんも受け入れています。

重心は、58人が入院できる病棟がありますが、すでに満床ですので、地域の患者さんをもっと受け入れられるよう拡張したいと考えています。

今後取り組んでいきたいのは、まず、若手医師の確保です。若い先生方の力は病院にとって非常に重要です。ただ、当院は専門医プログラムの研修機関としては麻酔科だけになりますので、内科の方を早く立ち上げたいですね。また、ハワイ大学とは関係が深いので、日本の専門医よりもアメリ

カの専門医を先に取りたいという方々を積極的に受け入れようと考えているところです。

初期研修医については、日本在住のアメリカ人医師のレクチャーが受けられるのが特徴です。スカイプレクチャーでハワイ大学の医師のレクチャーも受講できます。ハワイ大学の若手医師はとても教育熱心で、救急と内科になりますが、マンツーマンで研修医を指導してくれています。麻酔科は見学だけではなく、実際に麻酔をかけて、麻酔臨床を経験できます。救急部門も、救急の医師の指導がマンツーマンで受けられます。外科の手術件数は、緊急を含めてかなり多く、心臓血管外科は、希望があれば解離性大動脈の手術に第一助手で入れます。アメリカの専門医取得に興味のある方には魅力的な研修なのではないでしょうか。

最後に若い先生方へのメッセージですが、私の若い頃に比べ、海外留学へ行く人が少ないように感じています。たとえば内科の場合、2年間は研修医として過ごし、その上の3年は専門医を取得することだけに専念して、6年目になってやっと専門科に入るため、日本のシステムの中では、留学の機会をつかむのが難しくなりつつあるのかもしれませんが、ただ、若いうちに海外留学をして、日本以外の医療を経験するのはとても重要なことだと思います。私はフランスに留学しましたが、そこでの4年間は非常に役に立ちました。国内だけではなく、海外へも是非目を向けてほしいです。



院長PROFILE

中野 浩 (なかの・ひろし)

1986年昭和大学医学部卒業。

2006年ルイバスツール・ストラドポール大学付属オートビエール病院、聖マリアンナ医科大学医学部付属病院、2016年静岡医療センター副院長を経て、2018年同センター院長に就任。

所属学会：日本外科学会、日本消化器外科学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会、日本肝臓病学会

認定医の資格：日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本がん治療認定医、日本肝臓病学会高度技術指導医

静岡医療センター DATA

■ 所在地
静岡県駿東郡清水町長沢762-1
<https://shizuoka-mc.hosp.go.jp>

■ 病床数
450床

■ 診療科目

内科/脳神経内科/精神科/呼吸器内科/消化器内科/循環器内科/リウマチ科/小児科/整形外科/形成外科/脳神経外科/呼吸器外科/心臓血管外科/消化器外科/小児外科/皮膚科/泌尿器科/産婦人科/眼科/耳鼻いんこう科/放射線科/歯科口腔外科/麻酔科/リハビリテーション科/病理診断科/救急科

■ 研修の特色

一般的な病態の診療を通して、臨床医としての基本的な知識と能力を身につけ、診断能力から手技まで習得します。選択期間では、履修期間の延長や必修科目以外の科目も選択できます。また、二次救急に加えて、急性期循環器疾患や胸腹部大動脈疾患の緊急対応も積極的に行っています。麻酔科、放射線科の選択必修科目を用意しており、指導医のもとでじっくりと研修が積める環境です。



2019.9月に高精度放射線治療装置(トモセラピー)を導入



血管造影室内の様子 静岡県東部循環器病センターとして、24時間体制で対応



2019.6月より、ハワイ大学医学教育プログラム(HMEP)を開始



清水町や柿田川 (提供: 清水町役場)

静岡医療センターのある街

富士山などの雄大な自然と温暖な気候に恵まれた町

静岡病院のある清水町は、静岡県の東部に位置する。沼津市と三島市のほぼ中間で、南に狩野川、西に黄瀬川、そして町の中央部には富士山の湧き水が流れる柿田川を有する。北に富士山、東に箱根連山を望み、素晴らしい景観と温暖な気候に恵まれた場所だ。それでいて、都心からのアクセスも良好で、新幹線・東名高速どちらも利用できる。

柿田川の上流では、無数の水が湧き出る「わき間」がたくさん見られる。そこから500mほど下ると美しい富士山と柿田川の清流が眺められ、自然の姿にうっとりする。下流に行くと水しぶきをあげて流れる

狩野川と合流し、上流、中流とはまったく違う趣が楽しめる。柿田川は環境省選定の「名水百選」にも選ばれ、そのなかでも日本最後の清流といわれる高知県の「四万十川」と並び称されるほどの名水だ。

水辺ではカワセミやヤマセミ、ゆりかもめやキセキレイなどの鳥、アマゴ、鮎、サワガニといった魚、ミシマバイカモ、ホタルブクロ、ツリフネソウなどの植物が観賞できる。上流部には町民の憩いの場としての公園もあり、湧き水広場では水に足を浸して湧き水を体感できる。散歩できる遊歩道も整備されているため、パードウォッチングや森林浴を兼ねて訪れてみてはどうだろう。

